

フリーメイソンリー

2680 地区 PDG 田中 毅

フリーメイソンリーがこの団体の名称であって、会員個人のことをフリーメイソンと呼んでいます。ロータリーとロータリアンとの呼称の差と同じです。

ロータリーとフリーメイソンリーとの関係を、何か特別なもののように説く人もいますが、ロータリーが閉鎖的な組織であるのに反して、フリーメイソンリーは至って開放的で、一定の条件さえ満たせば、ロータリー、ライオンズ、ボーイスカウトなどの他の団体の会員、政治家、宗教家、小説家、芸能人、更に共産主義者でも入会できるので、特にロータリーという組織だけが特別深い関係にあるわけではありません。

フリーメイソンリーのルーツについては幾つかの説があります。

一番古いものは、1360 年、イギリスのウィンザー宮殿の建造の際に徴用された 568 人の石工職人団体に遡ります。

聖地エルサレムへの巡礼者の保護のためフランスで結成されたテンプル騎士団の生き残りが作った組織だという説もあります。



更にソロモン神殿の建築に携わった石工職人団体を起源とする組織だという説もあります。

現在のフリーメイソンリーのシンボルマークは、上にコンパス、下に直角定規という、石工職人のギルドだったことを示しています。

G はギルド (Guild) を意味するという人もいますが、神 (God)、幾何学 (Geometry)、栄光 (Glory)、寛容 (Grandeur)、黄金 (Gold)、靈知 (Gnosis) を表すと考えている人もいます。

フリーメイソンリーにおける個々の建築道具は人間の美德と対応しており、「直角定規」は道徳、「コンパス」は真理「鎚」は結束と友愛、「槌」は知識や知恵を象徴しています。

この組織は各々独立したロッジから成り立っていて、16 世紀後半にはスコットランドに、17 世紀中盤にはイングランドに、1717 年には、英国グランドロッジが設立されています。なお、独立戦争以降に米国にグランドロッジができています。

その職人団体としてのフリーメイソンリーは近代になって衰えていきますが、その後、建築学、専門職人、貴族、知識人などが加わり、職人団体から、友愛団体に変わって著しい成長を遂げます。商業や文化のネットワークを通じて、イギリスから、ヨーロッパ諸国、ロシア、アメリカ大陸、アフリカやアジアにまで広がっていきました。会員であれば相互に助け合うというフリーメイソンリーは、困難を抱えた人間にとって非常にありがたい存在でした。坂本竜馬が亀山社中を通じて大量の武器の輸入をしたり、討幕派の長州藩のためにユニオン号を買った金は、フリーメイソンであったグラバーから出たものだと言われています。ちなみにニューヨークの自由の女神像は、フランス系とアメリカ系フリーメイソンの間に交わされた贈り物であり、台座の銘板にはその経緯とフリーメイソンリーのシンボルマークが刻まれています。

最盛期には 600 万とも 300 万とも言われた会員も現在は 140 万人に激減し、日本人は僅か 300 人程度しか在籍していません。ロータリーは声高に会員増強を叫びますが、フリーメイソンリーでは、入会勧誘はご法度であり、会員 2 名の推薦を受けて、本人自らが申請しなければ

なりません。

入会条件はかなり厳しく、真摯な信仰心を持つ人と限定されていますが、特定の宗教を信仰しなくても、神や創造者の存在を信じる者ならば許されます。世間での評判、高い道徳的品性や健全な心の持ち主も条件です。定職を持ち、家族を養える一定の収入が必要です。政治的信条は問われず、共産主義者も可です。

フリーメイソンリーには「自由」、「平等」、「友愛」、「寛容」、「人道」という5つの基本理念が存在しています。この基本理念に基づいて、全人類の兄弟愛という理想の実現と、文明というものがもつ真正で最高の理想を実現するのです。

入会資格は18歳以上の男子に限定されます。身体障害者は入会できませんが、戦傷者については除外する規定があります。なお、黒人には別の専用ロッジがあります。

入会は月1回行われるロッジに於ける例会で面接があり、満場一致で会員候補者に決定されます。その再必ず聞かれるのは、5つの基本理念に関する自らの考え方です。後日身辺調査が行われ、入会金5万円と年会費5千円を支払って会員となります。なお、各ロッジによってこの金額は異なります。

入会の際、儀式の暗記と宣誓の暗唱が求められます。会員が付ききりで教えてくれますが、儀式の内容は極秘であり、外部に明かすことは禁じられています。このあたりが、秘密結社の疑いのかかる所以かも知れません。階級昇進においても儀式の暗記と宣誓の暗唱が求められ、その内容も、一段と高度化、神秘化していきます。

階級制度が厳しく、最低ランクの「徒弟」から最高ランクの「最高大総監」まで33階級あります。昇格の基準については公表されていません。石工ギルドの時代には、1階級上がるのに2~3年かかったといわれています。



フリーメイソンには有力者の会員も多いため、さまざまな人脈が出来て有利に働きます。符牒や握手の方法は、現実にはあまりにも有名になりすぎたため、実際に会員かどうかを知る必要がある時は会員証を提示させたり、特別な検分質問を行うこともあります。

ロッジに於ける食事会や集会では、政治活動、事業、宗教、政治問題を語ることは禁止されています。

主な活動内容は、高度な知識や技術を守るための儀式、会員同士の社交活動、慈善活動、募金・献血等チャリティー活動があげられます。まさしくこれらの活動を通じて、会員相互の友愛を図る活動です。

ホワイトハウス、自由の女神、ワシントン記念塔もフリーメイソンが設計や作成や寄贈に関与しました。

会員自身がフリーメイソンであることを告げるのは自由ですが、他人の身分を公表することは禁じられています。

日本における主なフリーメイソンは、西周、後藤新平、坂本龍馬、高橋龍太郎、河井彌八、佐藤尚武、鳩山一郎、笠井重治、加納久朗、星島二郎、東ヶ崎潔、三島通陽、沢田教一、小泉純一郎、高須克弥。

世界における主なフリーメイソンは、ベンジャミン・フランクリン、ヘンリー・フォード、ポール・ハリス、メルビン・ジョーンズ、ダグラス・マッカーサー、カーネル・サンダース、ゼバスティアン・バッハ、ウィンストン・チャーチル、フランクリン・ルーズベルト、などがあげられます。

なお、組織の管理は、独立したグランド・ロッジ別の中間管理組織が行い、ロッジ別の規約が定められています。入会金、年会費もロッジが定めます。貨幣価値が大幅に変わったにも関わらず、その金額は数十年前から変わっていません。

なお、1980年代の後半に、私自身もある政治家から入会を勧められましたが、当時フィリピンにおける貧困対策に取り組んでいたため、例会出席が不可能であることを理由に、お断りしたことを申し添えます。

ロータリーが秘密結社でないのと同様に、フリーメーソンリーも秘密結社ではありません。その設立が余にも古いため、宗教的要素を含んだ過去の活動は、謎に包まれています。現時点では、会員相互の異常とも思われる堅い友愛と、ロッジ別の細やかな対社会的なボランティア活動をしている組織です。